



第9回 写真コンクール入選作「岩原の子供たち」 技術部 地球化学課 柴田賢

岩原の子供たち

四国石鎚国立公園の南端にある面河溪は、溪谷と岩石美で知られた景勝地である。溪流によって第三紀花崗岩にさざみこまれた数々の作品は、関門、唐獅子岩、鉢巻岩等と名前がつけられ、さながら自然の展覧会だ。写真は面河溪のなかほどにある五色河原あたりで、水の青、苔の黒、岩の白、藻の緑、それに紅葉の紅を加えて、五色にいろどられるところから、かくよばれたものだろう。対岸には亀腹の奇岩とよばれる高さ100mにもおよぶ断崖があり、このあたりは面河溪随一の雄大なながめである。

海外旅行

- 北海道支所燃料課長 上島宏技官は、海底炭田調査の技術協力のため去る3月18日、5カ月の予定で台湾へ出張した
- 地質部長 斎藤正次技官は、マニラで開かれる ECAFE 第5回地質専門会議ならびに、地下資源開発小委員会に出席のため、去る3月19日出発した。なお帰国は4月上旬の予定
- 地質相談所 沢田秀徳技官は、ECAEF 事務局職員として、メコン川下流開発計画ならびに、東南アジア地域地質調査所の設立、および東亜の鉱産資源開発計画等の技術援助のため、3月20日バンコックへ赴任した。なお、現地滞在は1カ年の予定
- 技術部化学課 貴志晴雄技官は、米国で核原料鉱石の分析技術ならびに、ウラン鉱床の化学探査に関する研究のため、3月28日アメリカ地質調査所へ留学した。期間は1カ年の予定
- 燃料部石炭課 佐々木実技官、鉱床部鉱石課大津秀夫技官、同非金属課五十嵐俊雄技官、技術部測量課市川賢一技官は、沖繩の石炭・銅・磷鉱

床開発の技術援助のため、1カ月の予定で4月9日出張した

人事異動

- 4月1日付で次のとおり異動があつた。仙台駐在員事務所長 奥海端技官は、地質部応用地質課長に、企画課大和栄次郎技官は、仙台駐在員事務所長に、四国駐在員事務所長 清島信之技官は、福岡駐在員事務所へ、地質相談所 春城清之助技官は、四国駐在員事務所長に、それぞれ任命された。また地質部応用地質課長 近藤信興技官は退官した

あとがき

- ・工業原料鉱物(その3)「石灰石」を予定しておりましたが、筆者病氣のため今回は休載させていただきます
- ・融雪による山くずれ等、各所で発生しておりますが本文「山くずれの予知」はその参考資料としてご一読をお勧めします
- ・地下の科学シリーズ第2集「日本の鉄鉱資源」発売中ですので早めにどうぞ

地質ニュース

第104号 4月号  
定価 170円

昭和38年4月25日 発行

編集  
発行人  
発行所

工業技術院 地質調査所  
吉 富 保 重  
株式会社 実業公報社  
東京都千代田区九段4の11  
Tel (331) 7173・9387  
振替口座 東京 32466  
共同印刷株式会社

印刷所